

# 神奈川糖尿病療養指導士に対する 療養指導に関するアンケート調査

相沢政明<sup>1)6)</sup>, 金森 晃<sup>2)6)</sup>, 調 進一郎<sup>3)6)</sup>, 渡邊亜由美<sup>4)6)</sup>,  
町村英郎<sup>5)6)</sup>, 黒山政一<sup>1)</sup>, 平尾紘一<sup>3)6)</sup>

1北里大学東病院薬剤部, 2かなもり内科,  
3HECサイエンスクリニック, 4かねしろ内科クリニック,  
5まちむら内科クリニック, 6神奈川糖尿病療養指導士認定機構

# 目的

神奈川県糖尿病療養指導士認定機構は、県内の糖尿病療養指導や支援に携わる医療スタッフのレベルアップやモチベーション向上を目的として2006年に設立され、**神奈川県糖尿病療養指導士(KLCDE)**を認定してきた。

今回、地域における糖尿病療養指導ならびに支援活動のさらなる充実、推進を図るために、KLCDE取得者の療養指導に対する意識および実態を調査した。

# 方 法

2007年から2011年までの5年間にKLCDE資格を取得した346名全員にアンケート用紙を送付し、郵送にて回収した(調査期間:2011年7月22日～8月10日)。

アンケートは記名式とし、主な質問内容はKLCDE取得前後の職場における待遇の変化、取得後の療養指導の変化、資格更新の意志の有無とその理由、連携や協力を望む職種などとした。

# 結果

アンケート回収率：50.9% (176/346)

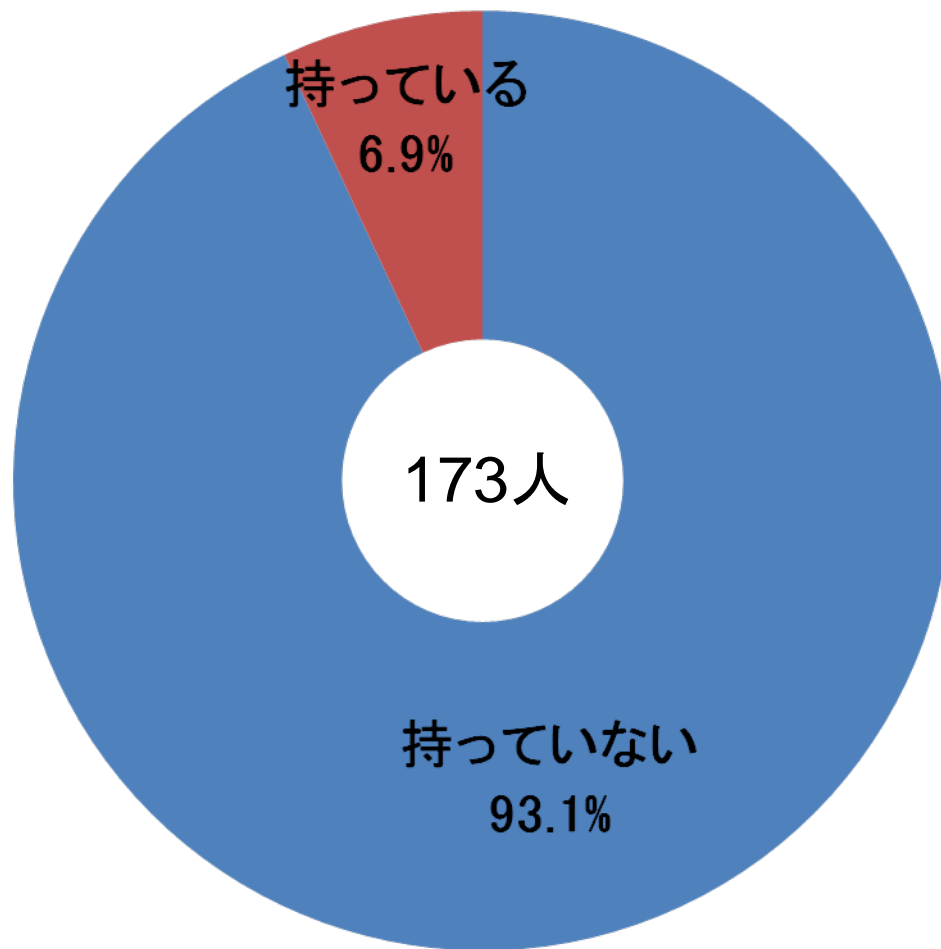
性別：男19人 女154人 記載なし3人

職種：薬局薬剤師 45人、病院薬剤師16人、他薬剤師2人、  
管理栄養士 33人、栄養士 0人、  
看護師 41人、准看護師 4人、  
臨床検査技師 12人、健康運動指導士 6人、  
事務職 6人、理学療法士 2人、歯科衛生士 2人、  
その他 5人、記載なし 2人

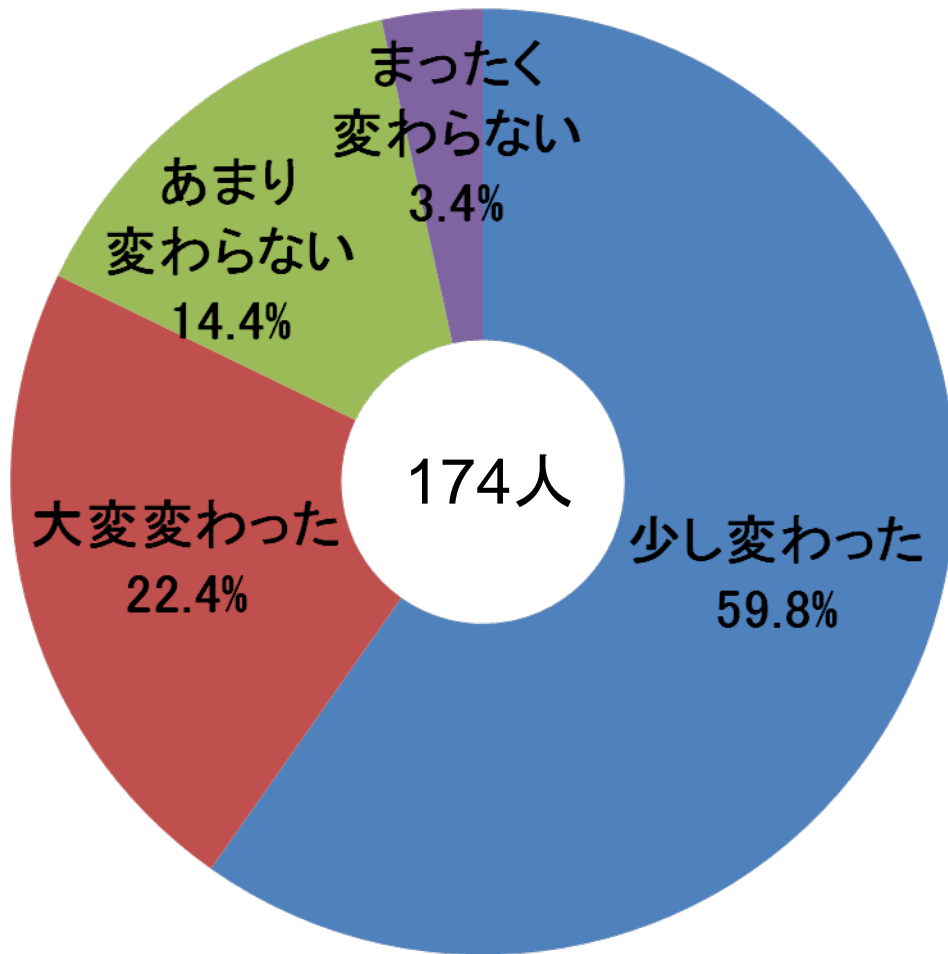
勤務：病院/診療所 86人、薬局 40人、医院 10人  
保健所 2人、介護老人保健施設 2人  
企業 2人、その他 11人、記載なし 23人

(赤字は日本糖尿病療養指導士で申請できない職種)

# Q. 日本糖尿病療養指導士(CDEJ)の資格を持っていますか？



# Q. KLCDEを取得後、取得前に比べてあなたの療養指導は変わりましたか？



143人

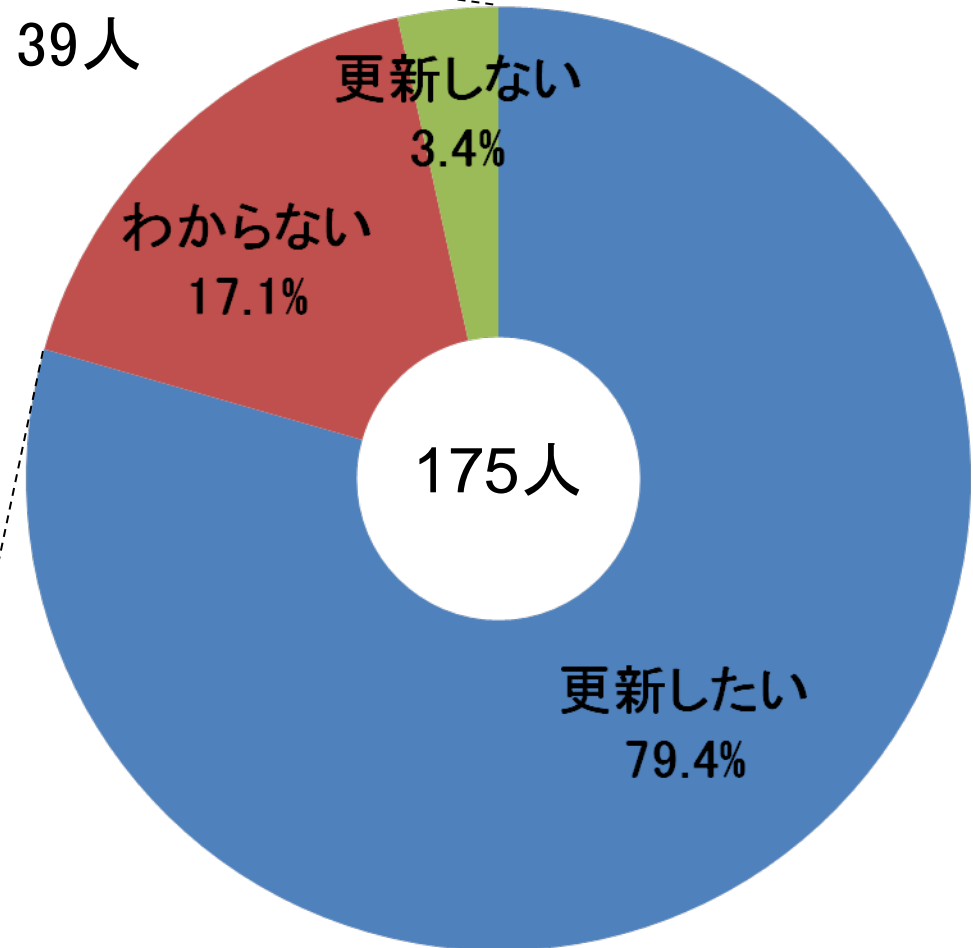
## 大變変わった・少し変わった内容 (n=143 複数回答可)

患者に正確な情報提供	87人
自信を持って指導	78人
患者の気持を理解	56人
患者の行動変容を促す	56人
コメディカルと連携が可能	30人
医師と連携が可能	26人
コメディカルに正確な情報提供	21人
医師に正確な情報提供	11人
その他	8人

# Q. KLCDEの資格を更新しようと思いますか？

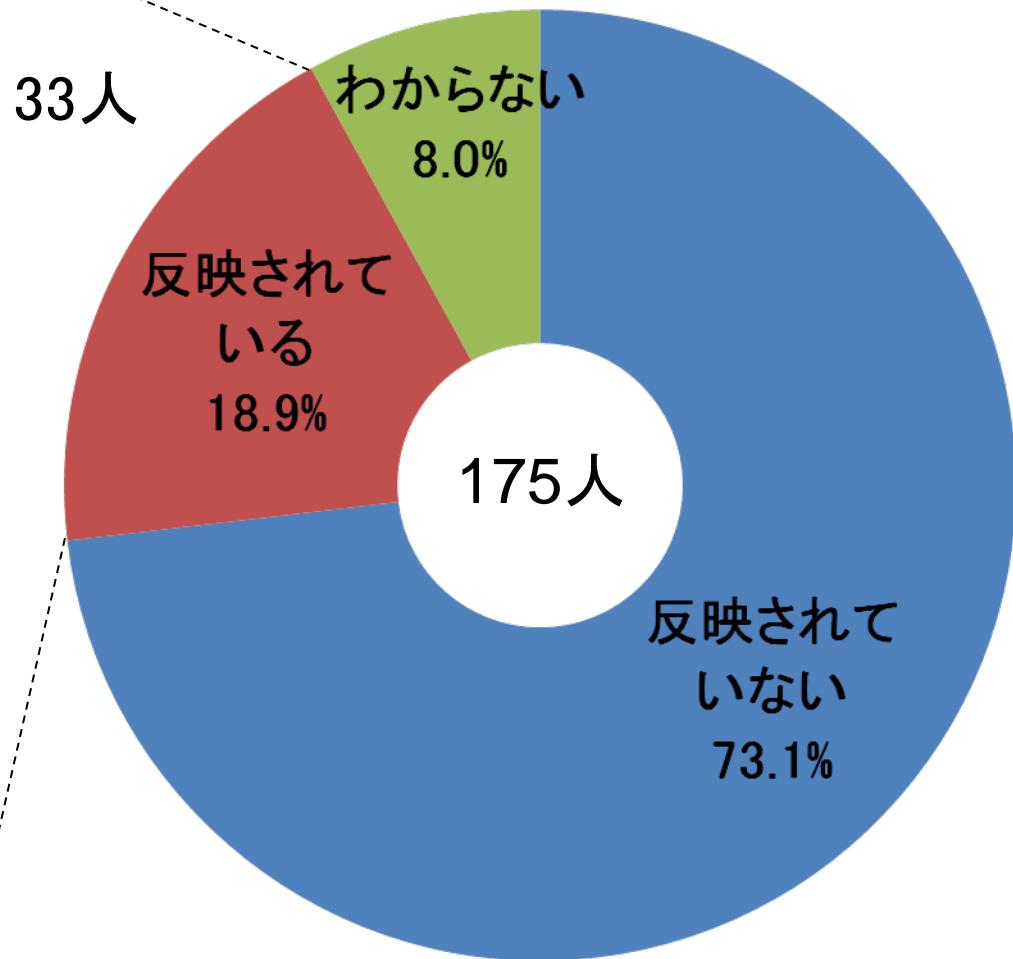
## 更新しない・わからない理由 (n=36 複数回答可)

KLCDEの利点がない	12人
KLCDEなくても療養指導可能	12人
療養指導を行わなくなる予定	11人
更新単位をとるのが大変	10人
療養指導を行っていない	6人
その他	4人
更新手続きが面倒	4人
更新料金が高い	3人
CDEJを取得する予定	3人
自分の更新時期わからない	1人



# Q. KLCDEの資格取得後、資格は職場の待遇(給与、職位、配置など)に反映されていますか？

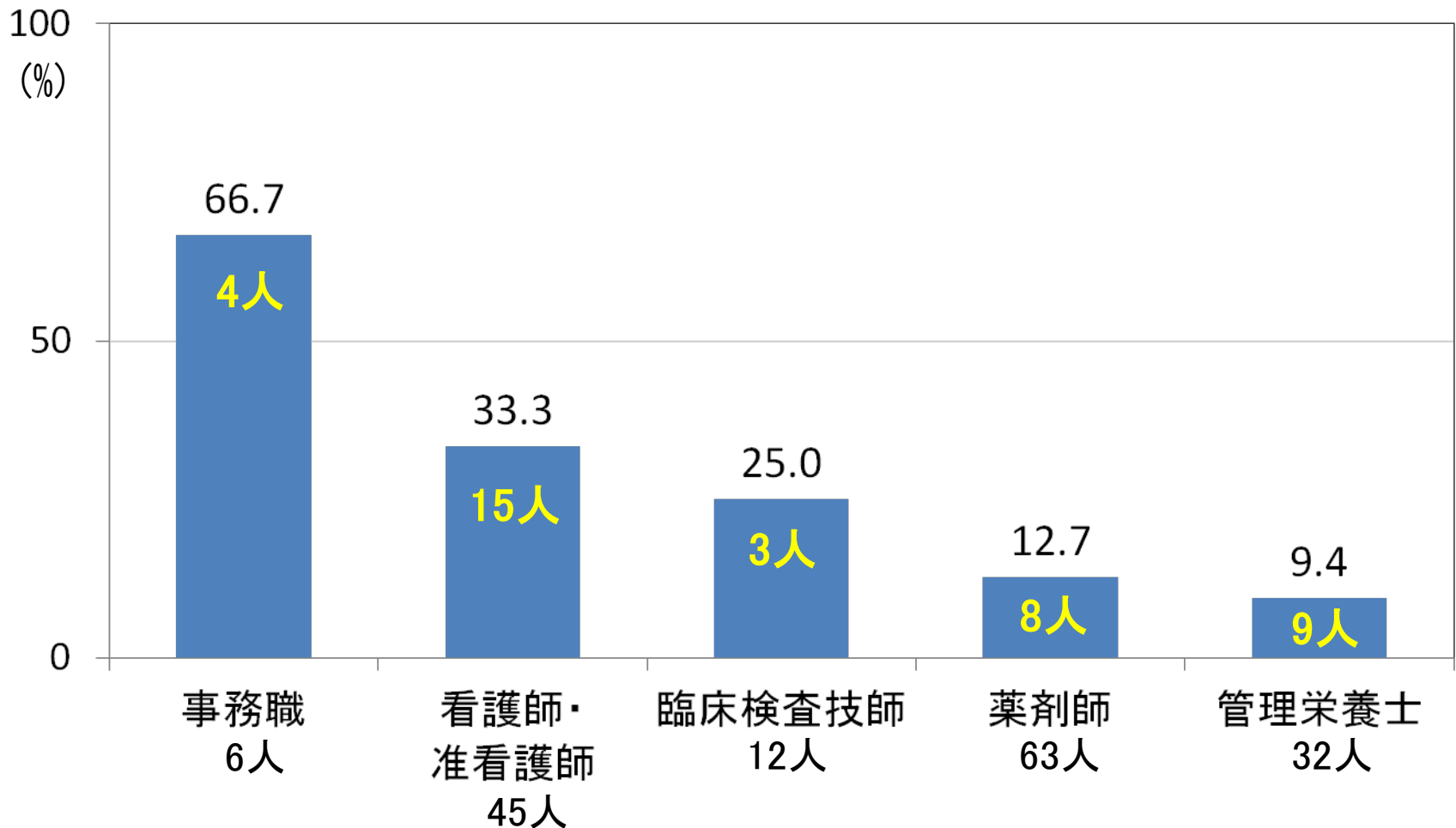
職種	反映されている内容 n=30
看護師	給与に加算(6人)
	チーム運営をまかされている(3人)
	フットケアを担当(2人)
	糖尿病教室を担当(1人)
	HPにKLCDE資格を掲載(1人)
准看護師	給与に加算(1人)
管理栄養士	KLCDEを名札に記載(1人)
	教育入院を担当(1人)
	尊重されている(1人)
薬剤師	給与に加算(3人)
	所属長をまかされている(1人)
	糖尿病の病棟に配置(1人)
	糖尿病ケアチーム(1人)
	DM専門医の門前薬局に転職(1人)
	質問・アドバイスを求められる(1人)
臨検技師	給与に加算(2人)
事務職	給与に加算(3人)





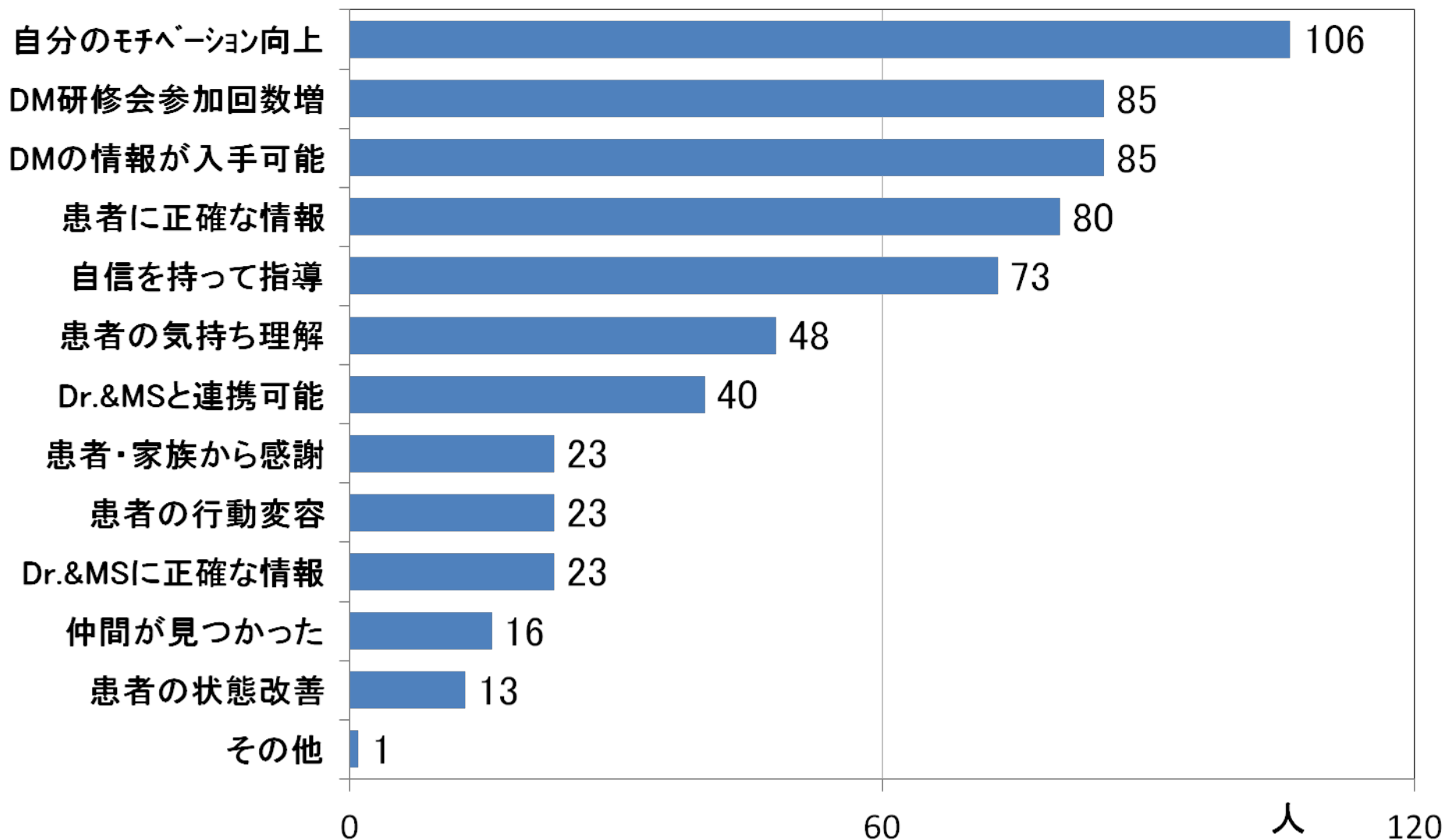
# KLCDE資格が職場の待遇に反映されている割合 (職種別)

n=158



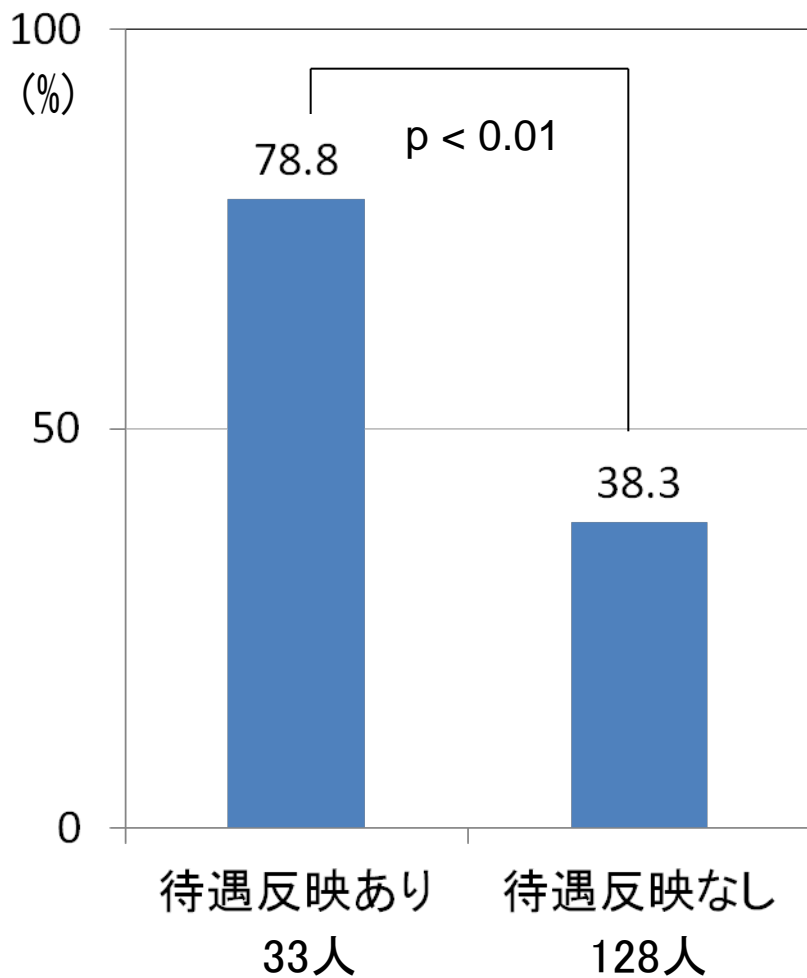
# Q. KLCDEを取得してよかったことは何ですか？

n=171 (複数回答可)

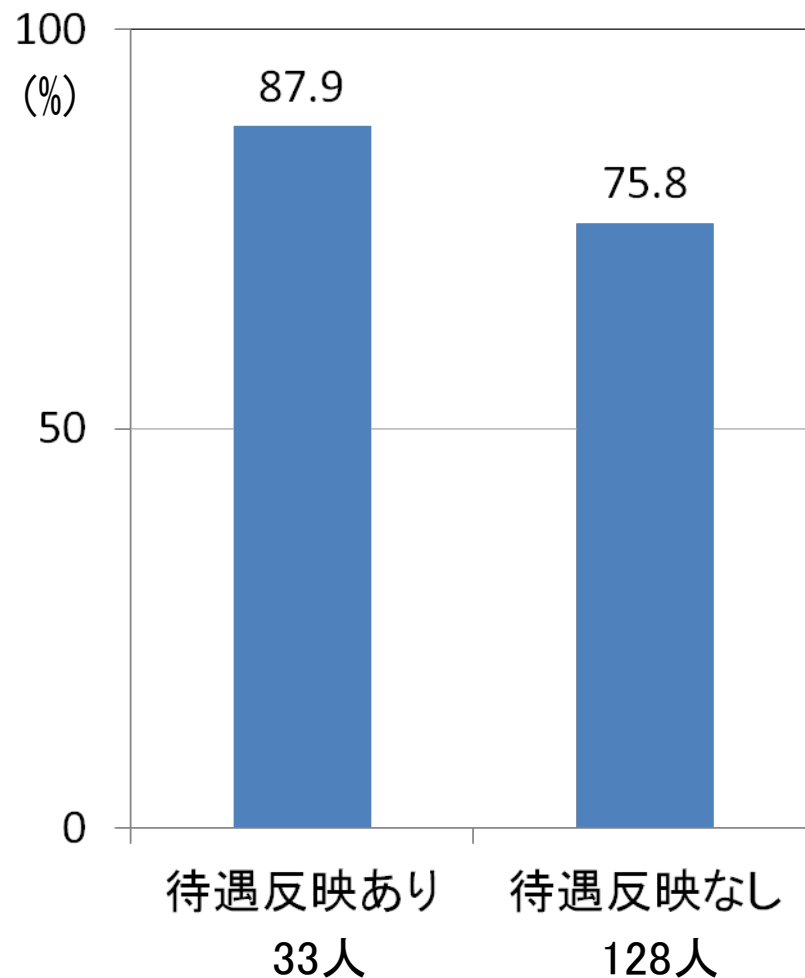


(MS : メディカルスタッフ)

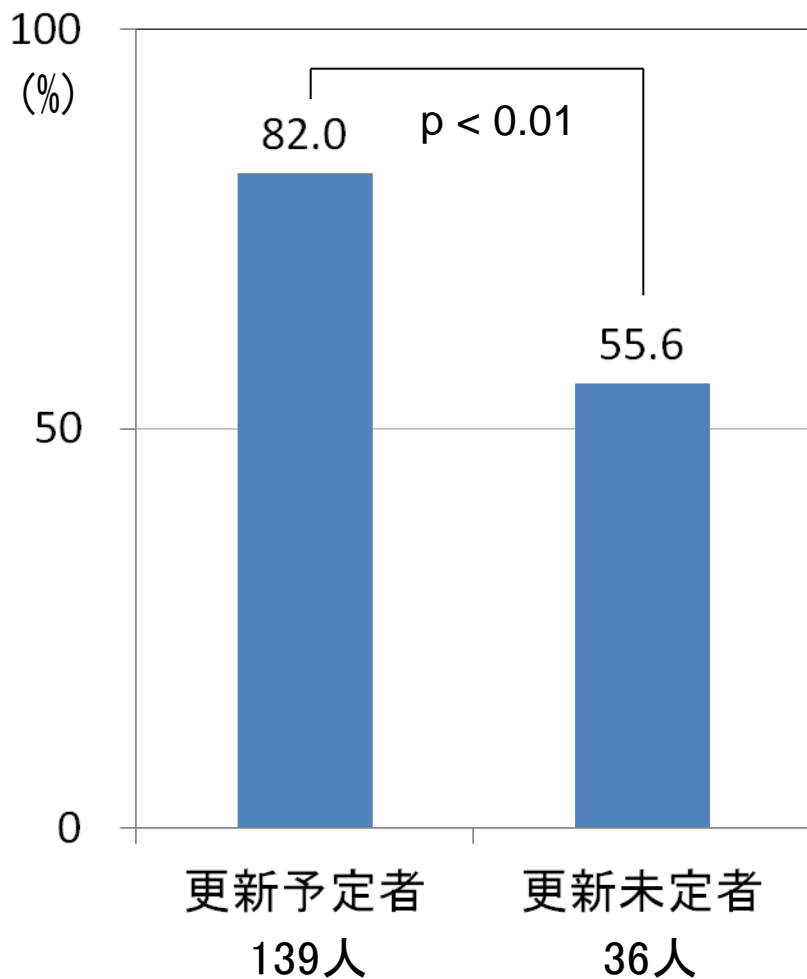
## KLCDEを取得して “大変よかった”



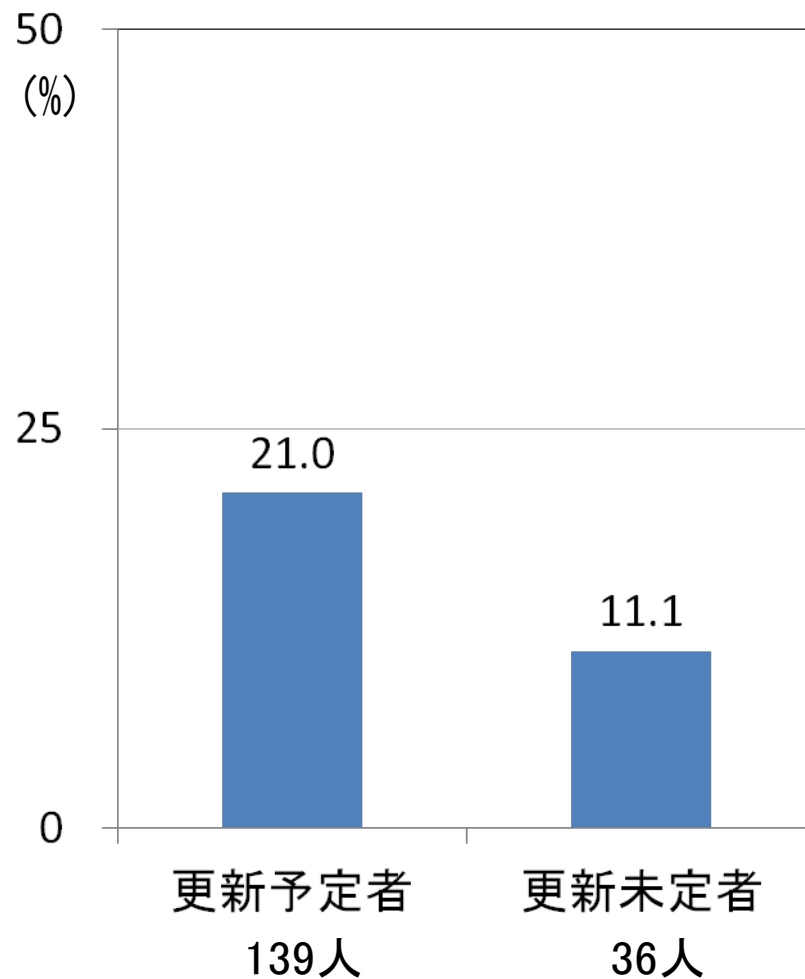
## KLCDEを更新したい



## 療養指導を現在 行っている



## KLCDE資格が職場の 待遇に反映されている



# 他職種と実際に連携できている割合

(複数回答可)

		実際に連携相手としてできている割合					
回答した職種	n	医師	看護師	薬剤師	管理栄養士	臨床検査技師	理学療法士
薬局薬剤師	46	0.53	0.20	1.13	0.15	0.20	0.00
病院薬剤師	16	0.83	1.00	1.00	0.73	0.38	0.60
看護師	45	0.98	1.19	0.61	0.59	0.89	0.58
管理栄養士	32	0.88	0.78	0.29	1.63	0.50	0.20

赤字は0.5未満

実際に連携相手としてできている割合 =

“連携相手にしている職種”と回答した数の合計 / “連携相手にしたい職種”と回答した数の合計

# まとめ

1. KLCDE取得者の7%が、日本糖尿病療養指導士(CDEJ)を取得していた。
2. KLCDE取得者の19%は、KLCDE資格が職場での待遇に反映されており、反映内容は給与への加算が多かった。
3. KLCDE資格が職場の待遇に反映されている者は、反映されていない者に比べ、KLCDEを取得して“大変よかった”と考えている割合が高かった( $p < 0.01$ )。
4. KLCDE更新予定者は、更新未定者に比べ、療養指導を現在行っている割合が高く( $p < 0.01$ )、KLCDE資格が職場の待遇に反映されている傾向にあった。
5. 薬局薬剤師は、他職種との連携を望んでいるが実際は連携できていないと考えていた。

# 考 察

1. 神奈川糖尿病療養指導士(KLCDE)の資格取得が、糖尿病療養指導や支援に携わる医療スタッフのレベルアップやモチベーション向上に関わっていることが明らかになった。
2. 今後さらにKLCDEの活動を充実、推進するためには、KLCDE有資格者の活動を正しく評価し、職場での地位ならび経済的な待遇向上を働きかけていく必要があると考える。